

職員による自己評価

A環境・体制面

年度初めに新しい職員が入り活動の幅が広がった。

B児童への支援

コロナ禍で面談が行えなくなり、連絡帳でのやり取りが中心になってはいるものの、保護者からのニーズに応じて活動を取り組んでいる。

C関係機関との連携

前項同様にコロナ禍で他事業所との交流は行っていない。その中でも学校や他の事業所等とケース会議を行うなど、連携を図りながら支援を行っている。

また、地域自立支援協議会や児童部会などにも状況を踏まえ、参加出来ていないのが現状だが、情報収集は行っている。

D保護者への説明責任・信頼関係

現在もご家族からのご要望も無い為、保護者会等の開催は行っていない。

送迎の際にお話を伺い対応している状態。加えて年間の面談を行う事で様々なご要望などを伺い各ご家庭ごとに適切に対応している。

E非常対応

緊急時のマニュアルに沿って、定期的に避難訓練を開催し、適切取り組みを行っている。

保護者による評価

A環境・体制面

活動のスペースに対してバリアフリー化などのどちらとも言えないといったご指摘が複数上がっている。

B児童への支援

支援計画書をもとに保護者のニーズに合わせた活動を行っており、現在も週単位やメンバーに合わせて内容を変更している事で固定化はされていない。他のデイ等との交流といった点について行っていないとのご意見も上がっている。

C事業所からの情報発信

現在も送迎時や連絡帳以外ではブログでの発信のみとなっており、引き続きブログを閲覧されている方も複数いらっしゃる以上を望まれている方は殆どいない様子。その他、個別での対応はお電話にて相談に応じている。

D非常対応

非常事態の際の緊急避難場所や緊急連絡網などが不明と言ったご意見が寄せられている。

事業所内での分析

【共通点】

- 環境・体制設備の点に関してはおおよそが「はい」といった返事が来ており、保護者様のニーズになっている点。
- 保護者会などでの保護者同士の連携は必要ないといった点。

【相違点】

- コロナ禍で面談が行えていない点をあげている保護者様もいる点。
- 災害時や怪我などのご家庭への連絡対応についての点。

